



# 第 52 回男子・第 47 回女子・第 42 回ジュニア 第 41 回マスターズ・第 22 回サブジュニア 全日本パワーリフティング選手権大会

【2023 世界選手権大会及び 2023 アジア選手権大会  
2023 アジアパシフィック選手権大会 代表選考会】

## 開 催 要 項

日時：2023 年 5 月 20 日（土）～21 日（日）

会場：〒904-0032 沖縄県沖縄市諸見里 2-1-1 コザ運動公園 沖縄市体育館

主催：公益社団法人 日本パワーリフティング協会（J P A）

主管：沖縄県パワーリフティング協会

協力：JPA 九州・沖縄ブロック

後援：スポーツ庁・（公財）日本スポーツ協会・（公財）日本オリンピック委員会  
沖縄県・沖縄市・沖縄県スポーツ協会・沖縄市スポーツ協会  
琉球放送・QAB・OTV・琉球新報・沖縄タイムス・沖縄県教育委員会・沖縄市教育委員会

参加区分：①一般男女（年齢制限無し）  
②サブジュニア（カレンダーイヤー14歳～18歳）  
③ジュニア（カレンダーイヤー19歳～23歳）  
④マスターズⅠ（カレンダーイヤー40歳～49歳）  
マスターズⅡ（カレンダーイヤー50歳～59歳）  
マスターズⅢ（カレンダーイヤー60歳～69歳）  
マスターズⅣ（カレンダーイヤー70歳～79歳）  
マスターズⅤ（カレンダーイヤー80歳以上）  
※カレンダーイヤー＝大会開催年の12月31日時点における年齢

実施階級：男子 53 kg級（サブジュニア・ジュニアのみ）59 kg級,66 kg級,74 kg級,83 kg級,93 kg級,  
105 kg級,120 kg級,120 kg超級  
女子 43 kg級（サブジュニア・ジュニアのみ）47 kg級,52 kg級,57 kg級,63 kg級,69 kg級,  
76 kg級,84 kg級,84 kg超級

出場資格：①2023年度のJ P A選手登録済みで日本国籍を有する男女、及び過去1年以上適法な在留資格に基づき日本に滞在している外国籍の男女

<https://powerlifting.shikuminet.jp/>より登録、登録費未納・会員番号未記載の申込は受付不可

※地方協会が未組織又は活動休止状態の場合は、下記のブロック長に連絡をとり、

当該ブロック内の都道府県協会に所属する選手として選手登録をすること

ブロック	氏名	所属県	E-mail	TEL
北海道・東北	太田 勇吉	青森県	ootay@lemon.plala.or.jp	017-718-1775
関東	寺門 浩之	茨城県	sakai236725@gmail.com (酒井)	029-295-7806
北信越	北澤 国彦	長野県	info@nagano-power.org	090-2831-8509
東海	伊藤 教雄	愛知県	powerfit@mx2.tees.ne.jp (川辺)	0533-67-4123
近畿	門 眞一郎	和歌山県	kado.sinitirou@violet.plala.or.jp	090-9111-3040
中国	濱本 清司	広島県	supportlife@support-l.jp	090-2095-5721
四国	高井 隆義	徳島県	takap1091@yahoo.co.jp	088-663-4705
九州・沖縄	実島 可斉	鹿児島県	yokahoyo@yahoo.co.jp	090-7453-9973

②2022年5月21日から2023年4月9日までの期間に、下記に定められた参加標準記録を突破している者

男子	サブジュニア	ジュニア	マスターズ I	マスターズ II	マスターズ III	一般	B標準
53kg	280	415					
59kg	310	465	465	410	310	515	487,5
66kg	340	515	515	455	340	570	540
74kg	370	560	560	500	370	620	587,5
83kg	395	595	595	527,5	395	660	625
93kg	420	630	630	560	420	700	665
105kg	445	665	665	592,5	445	740	702,5
120kg	460	695	695	615	460	770	730
+120kg	475	710	710	635	475	790	750

女子	サブジュニア	ジュニア	マスターズ I	マスターズ II	マスターズ III	一般	B標準
43kg	140	210					
47kg	155	230	230	200	155	255	240
52kg	170	250	250	225	170	280	265
57kg	180	270	270	240	180	300	285
63kg	190	285	285	250	190	315	297,5
69kg	190	285	285	250	190	315	297,5
76kg	200	300	300	260	200	330	312,5
84kg	205	310	310	270	205	345	327,5
+84kg	210	315	315	275	210	350	332,5

※マスターズIV及びマスターズVは参加標準記録を設けないが、上記の取得有効期限内に公認記録取得を必要とする

- 以下の推薦枠に該当する者（一般のみ）は、**B標準記録**突破を条件に申し込みを認める
  - ブロック推薦**：都道府県大会優勝者又は各ブロック大会上位入賞者で、当該ブロック長の推薦に基づき JPA 技術委員会が認めた者（ブロック毎に男女合計3名まで）
- 以下の推薦枠に該当する者（全カテゴリー）は、当該大会の申し込みを認める
 

但し、一般カテゴリーは **B標準記録**突破を必要とする

  - 大会主管協会推薦**：大会を主管する都道府県協会（沖縄県協会）に選手登録しており、主管協会理事長の推薦に基づき JPA 技術委員会が認めた者（各カテゴリー合わせて男女合計3名まで）

※実績と異なる階級への出場について：体重より更に重い階級の標準記録を突破している場合のみその重い階級への出場は認められる（例：74kg 級で出場した際に、83kg 級の標準記録まで突破している選手は、66kg 級には出場できないが、83kg 級には出場できる）

③JPA,JADA,WADA の「アンチ・ドーピング講習会」を受講済の者は受講日を申込フォームに入力して下さい。未受講の者は講習会に申し込み後、受講予定日を入力してください。尚、アンチ・ドーピング講習会は、19日：19:00～、20日：19:00～より、大会会場にて開催予定。

申し込みはシクミネットの「イベント」より選択、応募多数の際は先着順となります。

④日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のアンチ・ドーピング規程により 18歳未満の選手が大会参加する場合、「18歳未満競技者親権者同意書」の大会期間中の携帯を必要とする

⑤セコンド（コーチ）については、以下の資格条件を満たしていること

- 1) JADA の日本アンチ・ドーピング規程違反を理由として、資格停止の対象となっていないこと
  - 2) ドーピングに関連して、刑事上有罪となっていないこと
  - 3) ドーピングに関連して、JPAの「ドーピング防止規程」に基づく処分を受けていないこと
  - 4) ドーピングに関連して、所属する団体、事業所等で職務上の処分を受けていないこと
- ⇒詳細は、JPAホームページでエントリー掲載時に掲載する

**服装**：JPA競技規則のフルギアによる服装に準じる（詳細はルールブックを参照）

- ・リフティングスーツ（シングレット）とTシャツを着用すること
- ・シングレットとベルトは、JPA競技規則による規格に適合していなければならない
- ・スーパースーツ、ベンチシャツ、ラップ類(リストラップ、ニーラップ)、ニースリーブはIPF公認品のみ使用可
- ・ニーラップとニースリーブの併用及び多重履きはできない
- ・デッドリフトにおいては、膝下までのハイソックスを必ず着用すること

**表彰**：・個人戦：男女別各階級各カテゴリー別 1～3 位はメダルと賞状、同 4～6 位は賞状を授与  
・最優秀選手賞（文部科学大臣杯）：一般男子・一般女子・ジュニア・マスターズより各 1 名を IPF ポイントにて選出、トロフィーと賞状を授与  
・団体戦：①都道府県別団体戦＝男女混合 1～6 位まで賞状  
②クラブ対抗戦＝男女混合 1～6 位まで賞状  
団体戦参加資格は 2023 年度の JPA 登録団体で、1 団体 5 名以上  
※ダブルエントリーの場合、得点上位のカテゴリーを対象とする

団体戦 得点（1団体 上位5名までを集計対象とする）										
順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
得点	12点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

- ドーピング検査：**
- ① 本大会は、JADAの日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会であり、数名をランダムに選んで検査を実施する
  - ② 本大会参加者は、本大会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす
  - ③ 18歳未満の選手は「18歳未満競技者親権者同意書」を大会中は携帯し、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きの際は、その「18歳未満競技者親権者同意書」を提出しなければならない。同意書の提出がない場合、後日提出は可能である
  - ④ 本大会は、TUE事前申請対象競技会となっているので、治療目的で禁止物質を使用している選手は、JADAにTUE申請を行うこと。(大会開催 30 日前までに JADA に必着)

スポーツくじ



本大会におけるアンチ・ドーピング活動は、スポーツ振興くじの助成を受けて実施いたします

申込方法：<https://powerlifting.shikuminet.jp/> より「会員ログイン」→「イベント情報」を選択し、当該大会を選択して申し込み手続きを行ってください

※本大会では、郵送による申込は受付出来ません

- 参加料：
- ・一般・マスターズ 10,000 円
  - ・サブジュニア・ジュニア 8,000 円
  - ※一般+マスターズ・ジュニア・サブジュニアのWエントリー 18,000 円
  - ・団体戦 無料

申込締切：2023年4月9日(日)

※参加費支払い期限：2023年4月11日(火) 19:00

※Web エントリーフォームは4月9日の23:59を以て受付終了とする

- ・入力内容に不備のある申込や電話・FAXによる申込については受理出来ません
- ・4月10日以降に申込階級の変更や、出場辞退等による返金の申し出は受け付けません
- ・領収書の取り扱いについては、「振り込み控え」又は「シクミットの決済完了画面」にてこれに代える

進行スケジュール：各階級のグループ配置は、申込締切後 J P A ホームページに掲載予定

世界選手権大会代表選手の選考：J P A 国際大会選手選考基準に基づき選考

物品販売及びビデオ撮影：JPA 財務委員会（下記連絡先）まで届け出をする事

〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋 98-15-205 財務委員会 委員長 実島 可斉

TEL：0791-43-2000 e-mail：[powerlifting@japan-sports.or.jp](mailto:powerlifting@japan-sports.or.jp)

注意・周知事項：・JPA フルギアルールによる個人戦及び団体戦、ラウンド制

- ・申込階級と大会当日の検量体重が相違した場合は失格となる
- ・競技エリアには選手・セコンド及び運営協力者以外の立ち入りを禁止する

- ・使用機材：ラック ER、シャフト BULL
- ・初日・最終日、共に1面開催の予定
- ・事前検量用体重計は、大会会場にて金曜・土曜共に16:00～18:00の設置とする
- ・本大会への選手・役員としての参加に際し、開催期間中に発生した事故やトラブルに関して参加者本人が自らの責任において解決するものとし、大会主催者及び主管協会は一切の責任を負いません
- ・本大会の申込みにあたって取得した個人情報、本大会の運営及び国際大会選手選考の為にのみ利用する（申し込み時点で本人の同意が得られた事とみなす）
- ・本大会開催中に収録した写真や映像は、会場内外の上映用スクリーン・印刷物・テレビ放送インターネット配信等の各種媒体において使用される場合がある事を了承頂きます
- ・会場や競技中の写真、映像を、JPA 或いは主管協会が作成する各種のPR用媒体で利用する場合があう事をあらかじめご了承下さい
- ・本大会ではJPAのアカウントによるライブ中継を予定しております

## ※大会当日の欠場報告は義務です（主管協会へ必ず報告をする事）

沖縄県パワーリフティング協会 理事長（糸洵） TEL：090-7399-6084

大会会場案内：沖縄市体育館（沖縄南 IC バス停より徒歩3分）+（園田バス停より徒歩10分）



交通：那覇空港より高速バス乗車→沖縄南 IC 下車、徒歩5分



# List of hotels in Koza

Saturday, May 20, 2023, Sunday, May 21

第52回男子・第47回女子・第42回ジュニア  
 第41回マスターズ・第22回サブジュニア  
 全日本パワーリフティング選手権大会  
 【2022世界選手権大会及び2023アジア選手権大会  
 及び2022アジアパシフィック選手権大会 代表選考会】

開催地周辺の宿泊施設リスト & KOZA情報



# 「健康対策について」

公益社団法人 日本パワーリフティング協会

アンチドーピング委員会

参加申込に際しては、下記の健康チェックリストにより、各自で事前に健康チェックをして下さい。当てはまる項目があれば掛かり付け医に相談し、自己の責任において必要な対応を行って下さい。大会に参加する場合、健康管理には万全を期して自己責任で参加申込をしていただきます様、お願いします。

## 2023年度 全日本パワーリフティング選手権大会 参加申込時 事前健康チェック

A：下記の項目（1～4）の内、1つでも当てはまる項目があれば、大会参加の可否について掛かり付けの医師によく相談して下さい。掛かり付け医のもと、健康診断や心臓検診を受けて下さい

- 1. 心臓病（心筋梗塞・狭心症・心筋症・弁膜症・不整脈等）の診断を受けている、もしくは治療中である
- 2. 突然、気を失った事（失神発作）がある
- 3. 血縁者に、いわゆる「心臓マヒ」で突然亡くなった方がいる（突然死）
- 4. 最近1年以上健康診断を受けていない

B：下記の項目（5～8）は、心筋梗塞や狭心症になりやすい危険因子です。あてはまる項目があれば掛かり付け医に相談し、大会参加前までに状態を安定させて下さい

- 5. 血圧が高い（高血圧）
- 6. 血糖値が高い（糖尿病）
- 7. コレステロールや中性脂肪が高い（高脂血症）
- 8. たばこを吸っている（喫煙）

※掛かり付け医とは、皆さんの健康や体調を管理して下さっている身近な医師です

※掛かり付け医をきちんと決めて、各種の検査や大会参加等について相談しましょう

以上

# 「安全に関する注意事項」

公益社団法人 日本パワーリフティング協会

パワーリフティング競技は極限の重量を扱う為、大怪我をする等の不測の事態が発生する危険があります。選手・役員・スタッフ等の大会関係者全員は、この事を十分に理解した上で安全確保に努めるとともに、競技会場及びウォーミングアップ場においては、下記に例示する注意事項を遵守して大会に臨むようお願い致します。

## ◇選手の注意事項

### ①カラー未装着に起因して落下したプレートによる怪我

⇒ウォームアップの場合も、必ずカラーを付けて実施する事

### ②スーツ類の破れによる怪我

⇒スーツ類の劣化や縫い目等について、自己チェックを徹底する事

### ③スクワット及びベンチプレスのバーベル落下による怪我

⇒選手は慎重にスタートポジションを取る事、シャフトをしっかり握る事。特にスクワット時のバーベル落下は、選手ばかりか補助員も巻き込んだ怪我に繋がる恐れがあるので、選手は試技途中で立ち上がれない場合でも絶対に後ろへ投げ出さない事、必ず肩に担いだままで補助員の手助けを借りて立ち上がる事

### ④デッドリフトのフィニッシュ後半での怪我

⇒ダウンの合図後に足先へプレートを落下させないように、スタンスを注意する事

### ⑤大会当日の体調不良による怪我

⇒安全を優先して棄権する勇気も必要です

## ◇補助員の注意事項

### ①スクワット及びベンチプレスの挙上失敗に伴う怪我

⇒外したプレート等はつまずいたりしないように、足元近辺には絶対に置かない事。又、常にバーベルの落下を想定して、選手の動きを見ながらしっかりと補助の構えを取る事

### ②ベンチプレスのバーベル受け渡しの不手際に伴う怪我

⇒センター補助は選手にバーベルを確実に受け渡しができるように、手を離す際には慎重に行う事

### ③デッドリフトの後方転倒による怪我

⇒センター補助は選手と一緒に倒れる事を避ける為に、腰を落として補助の構えを取り、選手の動きをよく見る事

## ◇その他の注意事項

### ①会場設営時・撤収時

⇒プレート・ラック等の重量運搬中に、手指・足・腰等に怪我をする恐れがありますので、十分に注意して作業を行う事。大会終了後は疲れているので慌てず慎重に行う事

### ②見学・応援時

⇒ウォームアップ場では器具周辺から離れて見学し、足元に注意する事

### ③会場全体

⇒大会会場に掲示されている施設利用上の注意事項・指示事項・禁止事項に従う事

※大会期間中は傷害保険に加入しています。万一会場内で怪我をした場合は、速やかに大会事務局又は大会実行委員に申し出て下さい。大会終了後又は通院治療後でも構いません。

※怪我とは別に気分が悪くなったり体調を崩したりした場合は、休日診療先を案内しますので、大会事務局に申し出て下さい

# 『ドーピング防止に関する大切なお知らせと注意点』

2023年3月

(公社)日本パワーリフティング協会

アンチ・ドーピング委員会 委員長 鈴木 光

平成27年度に続き、平成30年度において又しても男子選手のドーピング陽性事例が発生し、誠に残念なことに、大会の成績抹消・4年間の資格停止等の厳しい処分が決定しました。現在、JOC、(公財)日本スポーツ協会、JADA等の関係諸団体は、2020東京オリンピックに向け、「PLAY TRUE」のスローガンの下で、アンチ・ドーピング活動を鋭意推進している中で、この事案発生であったため、JPAは大変に厳しい状況に置かれております。JPAは、発足以来、アンチ・ドーピングの啓発・推進に努めてきましたが、新たに、アンチ・ドーピング規則違反者を出したことは極めて重大事と認識し、改めて、再発防止に真剣に取り組んで参ります。アンチ・ドーピング規則違反は、選手本人のみならず、周囲の選手やJPAの名誉を大きく傷つけ、社会的な信頼を失うこととなります。今後、選手一人一人においても、ドーピングは犯罪であるとの認識を持ち、確信的ドーピングの廃絶はもちろんのこと、「市販薬、医療用医薬品にドーピング禁止物質が含まれていることは稀ではない」と心得て、不注意によるうっかりドーピングも絶無にする心構えが必要です。ついては、アンチ・ドーピング規則違反の根絶に向けて、以下の4点を徹底していただくようお願い致します。

1. サプリメントの注意点：サプリメントには表示されていない禁止物質が混入されている可能性があります。禁止物質が混入されていないことを自主的に検査されているメーカーのサプリメントへの変更を推奨します。
2. 医療用医薬品(処方薬)の注意点：医師の処方薬であっても禁止物質があります。受診時に「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」の最新版を提示し、医師とよく話し合いの上、処方薬を決定してもらって下さい。合理的な医学的根拠がある場合、TUEを申請し、承認されることにより禁止物質であっても使用可能となります。TUEが認められるのは、医師からの処方薬(漢方薬は除きます)のみですので、該当する方は医師と相談して、TUEの申請を検討して下さい。
3. 薬局、ドラッグストアでの市販薬購入時の注意点：薬局には薬剤師、スポーツファーマシストが在籍しているので、相談しながら購入して下さい。ドラッグストア、薬店には薬剤師が不在の場合がありますので、「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」を持参し、使用可能な医薬品や商品名を間違えないように、番線の注意を払って購入して下さい。下記の成分は市販薬に含まれる禁止物質で引っかかり易い一例ですが、市販薬の禁止物質はこれだけではありません。
  - ・かぜ薬、咳止め：メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン、麻黄(全て競技会の時には使用禁止)
  - ・胃腸薬：ストリキニーネ、ホミカ(全て競技会の時には使用禁止)
  - ・育毛薬：メチルテストステロン、プロピオン酸テストステロン(常時、全て使用禁止)
  - ・生薬、漢方薬：海狗腎、麝香、鹿茸(常時、全て使用禁止)※生薬や漢方薬は、明らかな禁止物質が含まれていない場合でも、意図しない成分が混入している可能性があるため、他の治療薬を検討された方が良いでしょう。
4. 使用する医薬品の検索、問い合わせについて「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」の掲載場所は、  
「<https://www.nichiyaku.or.jp/activities/anti-doping/about.html>」  
日本薬剤師会のURLは、「Global DR0」(<https://www.globaldro.com/JP/search>)  
どちらも検索する手段としては有効ですが、万能ではありません。不明な点がある場合は必ず、都道府県の薬剤師会、スポーツファーマシスト又はJPAホームページの「問い合わせフォーム」にお問い合わせ下さい。

# 世界アンチ・ドーピング規定改定に伴う 18歳未満競技者親権者からの同意書の取得について

1. 本競技会は「日本アンチ・ドーピング規程」に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
2. 本競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>) からダウンロードできます(※次ページにも掲載しています)。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に（受付時ではありません）、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、既に提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<https://www.playtruejapan.org/>) にて確認して下さい。

公益財団法人  
日本アンチ・ドーピング機構 御中

## 18歳未満競技者親権者 同意書



私、(ご署名) (住所) は、(ご署名) (住所) (以下「甲」) の親権者として、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 (以下、「JADA」) に加盟している競技団体に登録するすべての競技者 (甲を含む) に、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程 (以下「規程等」といいます。) が適用されることを理解します。

更に、ドーピング検査や検体分析、結果管理その他の規程等において定められる一連の手続 (以下「ドーピング・コントロール手続」といいます。) の内容を理解し、甲に当該内容を理解させます。

また、甲がドーピング検査の対象となり、採取検体の種類を問わずドーピング検査を受けることに同意し、ドーピング・コントロール手続に服することに対して異議を申し述べません。また、規程等が随時更新されることも理解します。

本同意は、甲が満18歳となるまで有効とし、本人が18歳になるまでの間に親権者が私以外にかわつた場合には速滞なく私から貴団体に通知し、新たな親権者から同意を得ることを誓約します。

また、私は、過去の情報を含む、甲に関するすべての情報 (個人情報を含む) を並びに本同意書が、検査やインテリジェンス活動等のアンチ・ドーピング活動に必要な範囲で、世界アンチ・ドーピング機構、国内外の競技連盟、主要総合大会組織、独立行政法人日本スポーツ振興センター等に提供されることに同意します。

年 月 日

【親権者】	【競技者 (甲)
住 所:	競技名:
_____	住 所:
_____	_____
自 署:	自 署:
_____	_____
_____	生年月日: 年 月 日
_____	_____

上記内容について了解いたしました。

2023年3月吉日

JPA公認審判員有資格者 各位

(公社)日本パワーリフティング協会  
技術委員長 二宮 正晴  
(公印省略)

2023年度 全日本パワーリフティング選手権大会  
陪審員・審判員ご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素はパワーリフティング競技への御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、御案内の通り JPA が主催する標記の大会が 2023 年 5 月に沖縄県協会の主管により開催されます。

つきましては、標記大会の陪審員・審判員の募集を致しますので、何かとご多忙とは存じますが、皆さまのご協力をお願い申し上げます。尚、九州・沖縄ブロック内の各協会所属の審判員の方には、積極的なご出席をいただきますようお願い申し上げます。

御協力いただける審判員有資格者の方は、お手数ですが JPA ホームページの「**審判員・陪審員申込** (<https://ws.formzu.net/fgen/S80557408/>)」より申し込み頂きたく存じます。

御協力いただける審判員の方々に対しては、昼食及び謝礼金 (3,000 円) をご用意致しますので、手配の関係上必ず御連絡をいただきたくお願い申し上げます。

尚、**Web 環境の無い方**につきましては、この書面のまま、下記の送付先まで郵送頂きたく存じます (※主管協会宛ではございません)。

敬具

2023 年度 全日本パワーリフティング選手権大会  
陪審員・審判員 参加申込書

2023 年 月 日

〒444-0840 愛知県岡崎市戸崎町字東山 38-7 ベリスタ岡崎戸崎 104 号

JPA 技術委員長 二宮 正晴 e-mail:ninomiymasaharu@ozziojp

都道府県協会 所属

氏名	会員番号	級	5月20日	5月21日	ご連絡先 住所・メールアドレス・電話番号
		<input type="checkbox"/> 国内 級	<input type="checkbox"/> 午前	<input type="checkbox"/> 午前	〒 e-mail TEL
		<input type="checkbox"/> (国際) 級	<input type="checkbox"/> 午後	<input type="checkbox"/> 午後	
		<input type="checkbox"/> 国内 級	<input type="checkbox"/> 午前	<input type="checkbox"/> 午前	〒 e-mail TEL
		<input type="checkbox"/> (国際) 級	<input type="checkbox"/> 午後	<input type="checkbox"/> 午後	

※出場選手、又はセコンドに就かれる場合は該当階級から外しますので、下記にご記入下さい

□ kg 級 □ kg 級 □ kg 級

2023年3月吉日

パワーリフティング関係者 各位

沖縄県パワーリフティング協会  
理事長 糸洌 真一  
(公印省略)

2023年度 全日本パワーリフティング選手権大会  
開催のお知らせ 及び 御協賛のお願い

拝啓 早春の候、皆さまにおかれましては益々ご清栄のことと存じます。また、平素から何かとご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、2023年度 全日本パワーリフティング選手権大会を、2023年5月20・21日両日に沖縄県は沖縄市体育館にて開催の運びとなりました。全国各地より御来県される皆様をお迎えすべく、沖縄県協会を挙げて精一杯の準備・運営を行う所存でございます。

しかしながら、大会運営に御尽力頂ける志ある方の減少等により、開催準備に携わる人員の確保及び運営資金の確保に苦心しているのが現状であります。

つきましては、本大会が無事に開催できますように、ここに御協賛を賜りたくお願い申し上げる次第であります。

激動の令和の時代の最中にある昨今、皆さまに対し大変恐縮な申し出ではございますが、温かいご支援・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

敬具

プログラム協賛広告サイズと料金は下記の通りです

プログラムA4版	サイズ(縦×横)	料金
1ページ	265mm×180mm	30,000円
1/2ページ	130mm×180mm	15,000円
個人協賛	氏名記載	3,000円

◇原稿送付先

郵送先: 〒904-0034 沖縄県沖縄市山内2-7-17 沖縄県パワーリフティング協会 理事長 糸洌 真一

※メールでデータを送付する際は下記のアドレスへお願いします

送信先: shinichiitosu@gmail.com

◇掲載料振込先: 店名: 琉球銀行 泡瀬支店 店番: 517 預金種目: 当座預金 口座番号: 0814920

◇申込締切 2023年4月9日(日)

2023/5/20~21

## 全日本パワーリフティング選手権大会

第52回男子・第47回女子・第42回ジュニア・第41回マスターズ・第22回サブジュニア

5月20日 第1セッション 試合開始 10:30 検量8:30

グループ	Lot	階級	カテゴリー	選手名	センシュメイ	年生	都道府県	団体名	取得記録
グループA 13名	1	女子47kg	一般	福島 友佳子	フクシマ ユカコ	1970	兵庫県協会	パワーハウス赤穂	480
	8	女子52kg	M2	山本 有希	ヤマモト ユキ	1973	高知県協会	World Champion Gym	277.5
	2	女子52kg	M2	加藤 愛子	カトウ アイコ	1973	東京都協会	パワーハウス	267.5
	9	女子52kg	一般	早川 琴果	ハヤカワ コトミ	1995	神奈川県協会	ESQUATIR	440
	3	女子52kg	一般	瀬尾 あおい	セオ アオイ	1998	茨城県協会	パワーハウスつくば	337.5
	10	女子52kg	一般+M2	田中 彰子	タナカ ショウコ	1964	兵庫県協会	パワーハウス赤穂	310
	4	女子52kg	一般+M2	磯田 あかね	イソダ アカネ	1970	神奈川県協会	スーパーパワーアサマトレーニングクラブ	300
	11	女子52kg	一般+M3	寺村 美香	テラムラ ミカ	1962	北海道協会	アイアンジム	345
	12	女子57kg	M2	中村 美代子	ナカムラ ミヨコ	1970	茨城県協会	パワーハウスつくば	242.5
	5	女子57kg	M2	柳沢 由紀子	ヤナギサワ ユキコ	1967	茨城県協会	パワーハウスつくば	250
	6	女子57kg	M4	大森 聖子	オオモリ セイコ	1951	神奈川県協会	小田原アリナ	312.5
	13	女子57kg	一般+M1	加藤 幸枝	カトウ ユキエ	1974	東京都協会	TXP	412.5
	7	女子57kg	一般+M2	洲上 宏恵	フチガミ ヒロエ	1967	神奈川県協会	赤川ジム	377.5
グループB 11名	20	女子63kg	M3	鍋倉 由美子	ナベクラ ユミコ	1962	神奈川県協会	スーパーパワーアサマトレーニングクラブ	295
	14	女子63kg	一般+M3	林 和美	ハヤシ カズミ	1963	神奈川県協会	赤川ジム	345
	21	女子69kg	M1	石井 眞希	イシイ マキ	1977	茨城県協会	パワーハウスつくば	310
	15	女子69kg	M2	工藤 智恵子	クドウ チエコ	1967	兵庫県協会	マッスルプロダクション	347.5
	22	女子69kg	一般+M1	照屋 利恵	テルヤ リエ	1975	沖縄県協会	那覇ジム	320
	16	女子69kg	一般+M2	北村 真由美	キタムラ マユミ	1967	神奈川県協会	スーパーパワーアサマトレーニングクラブ	537.5
	23	女子76kg	Jr.	藤原 志帆	フジワラ シホ	1905/6/22	全日本学生連盟	青山学院大学	380
	17	女子76kg	Jr.	北見 菜々香	キタミ ナナカ	2000	神奈川県協会	神奈川県協会個人登録	300
	24	女子76kg	M1	伊藤 治美	イトウ ハルミ	1978	千葉県協会	千葉県協会個人登録	352.5
	18	女子76kg	一般	根本 寛子	ネモト ヒロコ	1992	神奈川県協会	スーパーパワーアサマトレーニングクラブ	345
19	女子84kg超	一般	佐々木 尚子	ササキ ナオコ	1992	秋田県協会	怪力塾パワーリフティング	450	
グループC 7名	28	男子59kg	Sjr.	大澤 宝穂	オオサワ タカホ	2003	鹿児島県協会	鹿児島県協会個人登録	405
	29	男子59kg	Sjr.	星野 航平	ホシノ コウヘイ	2005	栃木県協会	栃木県協会個人登録	508.5
	25	男子59kg	Sjr.	鷲崎 佳也	フジザキ ヨシヤ	2006	全日本高校連盟	春日部共栄高校	352.5
	30	男子59kg	M4	伊差川 浩之	イサガワ ヒロユキ	1953	沖縄県協会	POWERSPORT	235
	26	男子59kg	M5	大城 新順	オオシロ シンジュン	1943	千葉県協会	千葉県協会個人登録	(別途確認)
	31	男子59kg	一般	久保 元人	クボ モトヒト	1989	大阪府協会	K'sGYM	560
	27	男子59kg	一般	菅田 勇作	スガタ ユウサク	1995	兵庫県協会	雷神ファクトリー	540

第1セッション終了後 会場内にて表彰式  
表彰式終了後、開会式

5月20日 第2セッション 試合開始 15:20 検量13:00

グループ	Lot	階級	カテゴリー	選手名	センシュメイ	年生	都道府県	団体名	取得記録
グループD 10名	36	男子66kg	Sjr.	吉成 勇樹	ヨシナリ ユウキ	2005	全日本高校連盟	春日部共栄高校	455
	37	男子66kg	Jr.	北村 織陽	キタムラ オリヒ	2003	大阪府協会	K'sGYM	515
	38	男子66kg	M2	深河 正	フカガワ タダシ	1972	兵庫県協会	マッスルプロダクション	603
	32	男子66kg	M3	丹羽 弘典	ニフ ヒロノリ	1961	香川県協会	高松トレーニングクラブ	510
	39	男子66kg	M3	実島 可斉	サネシマ ヨシナリ	1963	鹿児島県協会	亀美パワーチーム	380
	33	男子66kg	M3	寺門 浩之	テラカド ヒロユキ	1960	茨城県協会	パワーハルクジム	447.5
	40	男子66kg	M3	小渡 晋	オド ススム	1956	沖縄県協会	GINOWANGYM	430
	34	男子66kg	M5	大澤 充	オオサワ ミツル	1941	埼玉県協会	ビッグタートル深谷	327.5
	41	男子66kg	一般	佐竹 優典	サタケ ユウスケ	1996	東京都協会	TXP	785
	35	男子66kg	一般+M1	佐藤 義宏	サトウ ヨシヒロ	1982	神奈川県協会	K'sGYM横浜	692.5
グループE 7名	44	男子74kg	Sjr.	齊藤 瑞祈	サイトウ ミズキ	2005	全日本学生連盟	青山学院大学	522.5
	48	男子74kg	Jr.	関口 公平	セキグチ コウヘイ	2001	全日本学生連盟	早稲田大学	580
	45	男子74kg	Jr.	渡邊 勇仁	ワタナベ ユウト	2003	全日本学生連盟	青山学院大学	610
	46	男子74kg	M2	山本 英嗣	ヤマモト エイジ	1973	高知県協会	World Champion Gym	610
	42	男子74kg	M3	藪 俊介	ヤブ シュンスケ	1962	大阪府協会	ONI GYM	420
	47	男子74kg	M3	谷口 晃一	タニグチ コウイチ	1960	岡山県協会	岡山県協会個人登録	545
43	男子74kg	M4	瀧田 悟	タキダ サトル	1947	富山県協会	高岡TC	450	

第2セッション終了後 会場内にて表彰式  
初日終了予定 18:30

2023/5/20~21

## 全日本パワーリフティング選手権大会

第28回男子・第47回女子・第42回ジュニア・第41回マスターズ・第22回サブジュニア

5月21日 第3セッション 試合開始 10:30 検量 08:30									
グループ	Lot	階級	カテゴリー	選手名	センシュメイ	年生	都道府県	団体名	取得記録
グループF 8名	51	男子74kg	一般	鈴木 豪	スズキ ゴウ	1994	東京都協会	TXP	790
	56	男子74kg	一般	山本 航平	ヤマモト コウヘイ	1991	神奈川県協会	ESQUATIR	770
	52	男子74kg	一般	瀬尾 雅也	セオ マサヤ	1996	茨城県協会	パワーハウスつくば	650
	55	男子74kg	一般	比嘉 善浩	ヒガ ヨシヒロ	1991	沖縄県協会	POWERSPORT	707.5
	53	男子74kg	一般+M1	大谷 憲弘	オオタニ ノリヒロ	1980	神奈川県協会	ESQUATIR	840
	49	男子74kg	一般+M1	角館 武	カクダテ タケシ	1980	神奈川県協会	小田原アリ-ナ	690
	54	男子74kg	一般+M1	宮澤 賢次	ミヤザワ ケンジ	1977	東京都協会	パワーハウス	632.5
50	男子74kg	一般+M2	山田 英司	ヤマダ エイジ	1970	神奈川県協会	ス-パ-パワー-アサマトレ-ニングクラブ	600	
グループG 13名	61	男子83kg	Sjr.	石原 蒼也	イシハラ ソウヤ	2006	全日本高校連盟	春日部共栄高校	405
	67	男子83kg	Jr.	後藤 優誠	ゴトウ ユウセイ	2002	広島県協会	瀬野川トレ-ニングクラブ	705
	62	男子83kg	Jr.	大谷 和寛	オオタニ カズヒロ	2001	千葉県協会	千葉県協会個人登録	82.8
	68	男子83kg	M1	高橋 秀輔	タカハシ シュウスケ	1977	東京都協会	パワーハウス	595
	63	男子83kg	M2	福島 和文	フクシマフク カズフ	1966	兵庫県協会	パワーハウス赤穂	610
	69	男子83kg	M4	北野 利雄	キタノ トシオ	1946	宮城県協会	仙台市体育館パワーリフティングクラブ	520
	57	男子83kg	一般	鈴木 真人	スズキ マサト	1984	東京都協会	ノ-リミッツ	697.5
	64	男子83kg	一般	堀口 耀介	ホリグチ ヨウスケ	1993	神奈川県協会	青山学院大学 青剛会	727.5
	58	男子83kg	一般+Jr	富田 慎之介	トミタ シンノスケ	2001	東京都協会	TXP	675
	59	男子83kg	一般+M1	小早川 渉	コバヤカワ ワタル	1975	東京都協会	TXP	825.5
	65	男子83kg	一般+M1	荒川 大介	アラカワ ダイスケ	1978	東京都協会	ゴールドジムバ-ベルクラブ	700
	66	男子83kg	一般+M1	大石 圭太郎	オオイシ ケイタロウ	1981	神奈川県協会	ス-パ-パワー-アサマトレ-ニングクラブ	660
	60	男子83kg	一般+M2	濱田 展行	ハマダ ノブユキ	1969	大阪府協会	K'sGYM	821

第3セッション終了後 会場内にて表彰式

5月21日 第4セッション 試合開始 14:00 検量 12:00									
グループ	Lot	階級	カテゴリー	選手名	センシュメイ	年生	都道府県	団体名	取得記録
グループH 10名	71	男子93kg	M1	塩田 宗廣	シオタム ネヒロ	1977	兵庫県協会	グッドコンディション	647.5
	76	男子93kg	M2	小川 光寿	オガワ ミツヒサ	1971	富山県協会	西部組	620
	72	男子93kg	M3	盛 龍也	モリ タツヤ	1958	沖縄県協会	辺野古龍盛道場	285
	77	男子93kg	M4	大森 了	オオモリ リョウ	1952	神奈川県協会	小田原アリ-ナ	490.5
	73	男子93kg	一般	鈴木 喜稀	スズキ ヨシキ	1993	神奈川県協会	小田原アリ-ナ	930
	78	男子93kg	一般	久保 匡平	クボ キョウヘイ	1987	京都府協会	EXSTAGE	700
	74	男子93kg	一般+M1	堤 太郎	ツツミ タロウ	1976	神奈川県協会	ス-パ-パワー-アサマトレ-ニングクラブ	682.5
	79	男子93kg	一般+M1	荒川 孝行	アラカワ タカユキ	1978	東京都協会	ゴールドジムバ-ベルクラブ	805
	75	男子120kg	一般	磯野 太輝	イソノ タイキ	1997	神奈川県協会	ESQUATIR	780
	70	男子120kg	一般	間嶋 秀伍	マジマ シュウゴ	1991	千葉県協会	パワーリフティングジムZEAL	865
グループI 7名	80	男子105kg	M2	立花 浩二	タテバナ コウジ	1966	神奈川県協会	赤川ジム	592.5
	84	男子105kg	M2	中村 敏雄	ナカムラ トシオ	1970	東京都協会	TXP	705
	81	男子105kg	一般	小林 京士郎	コバヤシ キョウシロ	1997	神奈川県協会	ESQUATIR	747.5
	85	男子105kg	一般	林 直明	ハヤシ ナオアキ	1991	茨城県協会	パワーハウスつくば	802.5
	82	男子105kg	一般	Singletonary Darnel	シングルタリーダー	1994	沖縄県協会	沖縄県協会個人登録	702
	86	男子105kg	一般+M1	阿久津 貴史	アクツ タカヒト	1982	東京都協会	TXP	900.5
83	男子105kg	一般+M1	柴田 道郎	シバタ ミチオ	1978	静岡県協会	静岡県協会個人登録	750	

第4セッション終了後 会場内にて表彰式

大会2日目終了予定 17:30